

【特別選抜】エキスパート入学試験

〔併願制〕

エキスパート入学試験とは、志願する学科・領域の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を選抜する入学試験です。

なお、この入学試験では「**特待生**」を選抜する入学試験ですので、入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなり、「特待合格」であった場合、入学金を除く学納金(授業料、教育充実費、実習費)が免除となります。(入学初年次のみ。2年次以降の授業料免除については、別に定める授業料免除のための継続条件に基づいて毎年審査を行い、条件を満たした場合に該当となります。)

募集学部・学科・領域

全学部・学科・領域・コース

※芸術学部 芸術学科 音楽領域 プロフェッショナルアーティストコースを除く

出願資格

- 日本国内における高等学校(中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む)を卒業した者、または2022年3月卒業見込みの者
- 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2022年3月修了見込みの者
- 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号の1つに該当する者、または2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2022年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
 - 専修学校の高等課程(修了年限が3年以上であること。その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2022年3月31日までに修了見込みの者
 - 文部科学大臣が指定した者
 - 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定試験に合格した者、および2022年3月31日までに合格見込みの者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの
 - 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2022年3月31日までに18歳に達するもの

※(6)で出願しようとする場合は、出願開始の1か月前までに本学広報部学生募集チーム(TEL:0568-24-0318)まで申し出てください。
- 外国において、次のいずれかの資格を2020年または2021年に取得した者
 - スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から大学入学資格として認められている国際バカロレア資格
 - ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格

芸術学部 芸術学科 美術領域

コース	選考方法①	+	選考方法②	+	選考方法③
全コース	基礎力検査+小論文(800字程度) (90分・100点)		基礎デッサン (180分・100点)		自己作品持参によるプレゼンテーションおよび個人面接 (約30分・100点)

〈個別提出書類〉

なし

〈選考方法詳細〉

選考方法①は、いずれも美術に関する設問

選考方法②のモチーフは1点

選考方法③は、自己作品3点とポートフォリオを当日持参すること

〈選考ポイント〉

各選考方法で判定された内容を総合的に判断して評価を行います。

選考方法①は、美術を学ぶための知識と意欲が備わっているか。

選考方法②は、基礎的な技術を備え、自分の考えを効果的に描写するための表現力が備わっているか。

選考方法③は、作品制作や制作への想いについて、説得力のある内容であるか。また、美術に関する制作や研究に対して目標意識や熱意を持っているか。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記具 ③デッサン用具 ④自己作品3点 ⑤ポートフォリオ

※デッサンの画用紙は本学で用意します。

芸術学部 芸術学科 デザイン領域

コース	選考方法①	+	選考方法②	+	選考方法③
全コース	大学入学志望理由書 (50点)		デザインに関する講義聴講による課題 (270分・125点)		自己作品持参によるプレゼンテーション および個人面接 (約30分・125点)

〈個別提出書類〉

大学入学志望理由書(任意様式)

〈選考方法詳細〉

選考方法①は、A4用紙3枚程度を出願書類提出時に提出すること。

選考方法②は、講義を聴き、考え方の表現テストとそれに基づく実制作を実施します。

※「考え方の表現テスト」は与えられた課題を理解し、それに対する考え方や提案を図や言葉で表現する試験です。

選考方法③は、3年以内に制作した作品のポートフォリオ(A3サイズファイル)を当日持参すること。

※ポートフォリオは対外的な活動報告をより重視します。

〈選考ポイント〉

選考方法①では、これまでの活動(制作物や社会活動など)、本学の明確な志望理由として、本学の特徴を理解し、入学後の大学生活で実現してみたいこと、身につけたいこと、卒業後のビジョンが示されているかを判断します。

選考方法②では、講義内容の理解力、要約力、問題発見力、問題解決能力をプロセスシートで、またそれが反映された実制作物によりデザイン能力を判断します。

選考方法③では、自分の考えや制作物に込められた意図を相手に伝えるためのプレゼンテーション能力を判断します。

〈試験当日持参物〉

①受験票 ②筆記具 ③ポートフォリオ

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

コース	選考方法①	選考方法②
リベラルアーツコース	レポート 〔講義受講(20分)+文章読解(20分)+レポート作成(60分)+口頭発表(2~3分)〕 (200点)	ディスカッション (受験者人数により最大60分・100点)

〈個別提出書類〉

なし

〈選考方法詳細〉

選考方法①の「講義受講」「文章読解」では、日本の大学を志す受験者として相応しい基礎学力と日本語の読解力・聞き取り力をみることを想定しています。日本の高校までの教育で身につけるべき語彙や基礎学力を備えていれば理解可能な講義内容や、読解可能な文章です。

〈選考ポイント〉

選考方法①の「講義受講」「文章読解」では、複雑な物事を把握する力、「レポート作成」「口頭発表」では、自分の頭で考え独創的に発想し、それを表現する力をそれぞれ重視します。

選考方法②では、ディスカッションを通じて表現力や傾聴力等、いわゆる「人と人をつなぐ力」を重視します。

〈試験当日持参物〉

- ①受験票 ②筆記具

教育学部 子ども学科

コース	選考方法①	選考方法②	選考方法③
全コース	令和4年度大学入学共通テスト 〔「国語」「数学」「理科」「地理歴史・公民」「外国語」〕 (500点)	当日課題に基づくプレゼンテーション (資料作成90分+プレゼンテーション15分・250点)	口頭試問 および個人面接 (約15分・250点)

〈個別提出書類〉

- ①大学入学志望理由書(本学所定の様式) ※将来小学校教諭または幼稚園教諭・保育士のいずれの職に就きたいか記述すること
- ②活動報告書(様式は不問。本学所定の様式を活用しても可)

〈選考方法詳細〉

選考方法①は、令和4年度大学入学共通テストにおいて、以下の教科・科目の受験が必須となります。

「国語」…(現代文、古文、漢文)合計200満点を100点に換算します。

「数学」…数Ⅰ・A必須。数学Ⅱ・B、簿記、情報から1科目選択。数Ⅰ・Aと選択科目合計200点満点を100点に換算します。

「理科」…1科目〔2科目受験者はいずれか高得点1科目〕(100点) ※理科①(基礎科目)は2科目受験の合計点とします。

「地理歴史、公民」…1科目〔2科目受験者はいずれか高得点1科目〕(100点)

「外国語」… 合計200点満点を100点に換算します。(「英語」受験者の場合、リーディングとリスニングの配点比率は1:1とします。)

選考方法②は、小学校教員志望者と幼稚園教諭・保育士志望者とでは課題が異なります。出願時に必ずいずれかを記入してください。

選考方法③の口頭試問はプレゼンテーション内容をもとに行います。個人面接は大学入学志望理由書、活動報告書に記載された内容をもとに行います。

〈選考ポイント〉

選考方法②の当日課題は、小学校教諭志願者用と幼稚園教諭・保育士志願者用に分かれています。それぞれ現代の子ども達を取り巻くさまざまな諸問題に関するものや、現場の授業・保育で実施されている実技などを想定した内容の中からの出題となります。

選考方法③は、理解・分析・考察力、表現力、発表力、態度等について評価をします。

〈試験当日持参物〉

- ①受験票 ②筆記具 ③プレゼンテーション資料作成用具